

平成29年度 神奈川県立商工高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
公務外非行の防止	職員一人ひとりが、公務員としての自覚をもち、公務外において生徒・保護者・県民の信用を損なわないよう、意識啓発を図る。	年度当初に「神奈川県職員行動指針」を再確認するとともに、折にふれて「事故・不祥事防止3か条」を確認した結果、問題はみられなかった。
わいせつ・セクハラ行為の防止	スクールセクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	事故防止会議で複数回テーマとしてとりあげ、職員啓発資料を活用して意識啓発に努めた結果、問題はみられなかった。
体罰・不適切な指導の防止	生徒に対する不適切指導・体罰の未然防止を図る。	事故防止会議で複数回テーマとしてとりあげ、授業及び部活動における事例検討を行う等して、意識啓発に努めた結果、問題はみられなかった。
適切な私費会計処理	学校徴収金・団体徴収金・部費・合宿費等の執行と会計管理を「私費会計事務処理の手引き」に基づいて適正に行う。	年度の早い時期に事故防止会議のテーマとしてとりあげ、「私費会計事務処理の手引き」(一部抜粋)と帳票の作成例を示して研修した結果、特段の問題はみられなかった。
個人情報適切な管理・情報セキュリティ対策	個人情報の漏洩、紛失等の事故を未然に防止する。	年度当初の事故防止会議でテーマとしてとりあげるとともに、夏季休業期間中に外部講師を招いて研修会を実施した。また、折にふれて注意喚起を行う等、日常的に職員の意識啓発に努めた結果、問題はみられなかった。
酒酔い・酒気帯び運転及び無免許運転の防止	道路交通に関する法令を遵守し、酒酔い・酒気帯び運転及びこれらによる交通事故の防止を図る。	年末の事故防止会議でテーマとしてとりあげるとともに、折にふれて注意喚起に努めた結果、問題はみられなかった。
業務執行体制の確認	法令・マニュアル等の諸規定に基づき、日常の点検やチェックを行い、適正な業務を遂行する。	日常から諸規定の遵守及び「報告・連絡・相談」を意識した業務執行に努めた結果、特段の問題はみられなかった。
調査書・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止	調査書・通知表及び成績処理に関する点検体制を確認する。	節目節目に事故防止会議のテーマとしてとりあげ、関連資料を配付して研修した結果、特段の問題はみられなかった。
入学者選抜の事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	マニュアル等関係資料の整備を図るとともに、適時に事故防止会議のテーマとしてとりあげ、細部に至るまで徹底した結果、問題はみられなかった。

長期休業中等における学校見学に係る事故防止	長期休業中において、企画研究G職員や管理職の離席中に中学生や保護者からの問い合わせがあった場合に備え、適切に電話対応することで、事故を未然に防止する。	適時に関連資料を配付し、共通理解を図るとともに丁寧な対応に努めた結果、特段の問題はみられなかった。
健康面等指導上配慮を要する生徒への対応	指導上配慮を要する生徒に対して、個々の状態に合わせて適切に対応する。	年度の早い時期に共通理解を図るとともに、折にふれて会議を開き、丁寧かつ適切な対応ができるよう相互研修に努めた結果、きめ細かな対応ができた。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題  
(校長意見)

平成29年度は、上記項目について、目標達成に向けて事故防止会議や長期休業中の研修等により、職員の意識啓発を図るとともに日常点検に基づく業務の改善に努めた。その結果、特段の問題はみられず、「不祥事ゼロプログラム」は概ね達成できた。

平成30年度も、常にアンテナを高くし、職員の意識啓発を図ることで事故・不祥事ゼロを目指し、保護者・地域・社会から信頼される学校づくりに邁進する。そのためには、平成29年度の項目に引き続き取り組むとともに、これら各項目の目標達成に向けて一層充実した取組を実施することが課題である。